

件名	<第7回 蒲田都市づくり推進会議 議事概要>	
日時	平成25年12月10日(火) 9:30~11:30	場所: 大田区立消費者生活センター2階大集会室
出席者	委員24名(うち3名代理)、オブザーバー1名、傍聴者: 20名	
配布資料	第7回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

◆開会・挨拶

- ・座長より、開会挨拶

◆資料説明

- ・大田区事務局より、蒲田駅周辺再編プロジェクト(案)(資料1)、第6回蒲田都市づくり推進会議での指摘事項(資料2)について説明
- ・日建設計総合研究所より、初動期東口駅前広場形状の検討(前回までの整理)(資料3)、初動期東口駅前広場形状の検討(歩道幅員・形状の再調整)(資料4)、初動期東口駅前広場形状の検討(荷捌き動線変更による検討案)(参考)、東口地下自転車駐車場レイアウトの検討(資料5)について説明
- ・大田区事務局より、初動期整備計画について、バーチャル・リアリティ(VR)で説明

◆意見交換

【以下、主な意見交換内容】

1) 西口駅前広場について

座長)

配布資料について、西口駅前広場についてはないのですか。

⇒大田区)

西口駅前広場については、検討部会の設置を考えており、次回の第8回蒲田都市づくり推進会議の前に開催したいと考えています。詳細が決まり次第、報告いたします。

委員)

西口駅前広場の交番について、広場内の視認性の良い所に交番を作ってください。

⇒大田区)

前々から提案を頂いており、承知はしています。交番については西口の検討部会の中でも、取扱いを含め話を出していきたいと思えます。

2) 東口駅前広場・地下自転車駐車場について

委員)

地下自転車駐車場について、JR用地活用の実現性はどの程度あるのですか。また、東口駅前広場の交通島の両側の横断歩道がずれていますが、バスの配置により制約があるのはわかるが、歩きにくいので上手く配置をしてください。個人的な意見としては駅ビル荷捌き動線(参考資料)については、可能であればB案が良いと思えます。

東口駅前広場の形状については、今後、説明会等を地元で開き、いろいろな意見を聞いて詳細を決めてください。

⇒大田区)

JR用地活用の件は、駅周辺交通調整部会にJRも参加をしており、話は出しています。また、JR用地で言えば、JR大塚駅の駅前広場地下を地下自転車駐車場に整備する事例が既に出ており、この件で大田

区として豊島区にヒアリングに行きました。これから本格的に JR との交渉を進めたいと考えています。A 案 B 案と、それぞれメリットデメリットありますが、今後、警察とも相談しながらどちらかの案に決めて行きたいと考えています。

⇒大田区)

横断歩道のズレについては、歩行者空間をどのように確保する事が最善なのか、今後も事務局で検討していきますので、もう少し時間をください。

委員)

東口の回遊路について、どのように考えているのですか。区役所を観光拠点や案内拠点のような中心と捉え、そこから市街地を繋げていくような考え方もあると思うが、検討していただきたい。

座長)

荷捌き車両は 1 日にどれくらい入ってくるのですか。

⇒大田区)

1 日に 100 台弱です。

座長)

荷捌き車両について、駅街路 2 号線の交差点の形状から、トラックの車両制限の工夫をする必要があると思います。東口の回遊路については、区役所は、人が集まる施設として大きな役割を果たしているので、市街地側との繋がりについて、どこを中心に考えていくのかを含めて検討してください。

委員)

荷捌き車両は、実感としては時間帯によってはもう少し多いように感じます。区役所に来る人の動線と荷捌き車両の動線が重なるように見えますが、どのように考えているのですか。

⇒大田区)

時間帯別の台数については、9 時台の 18 台がピークです。駅と区役所を結ぶ歩行者動線と荷捌き車両の動線が交錯する事について、良い案が見つかっていないのが実情ですが、初動期・中長期に、例えば、駅ビル建替えに合せて荷捌き場は他の位置に移動するという様な、何らかの手は打てないか考えて行きます。

オブザーバー)

駅ビルへの荷捌き動線については、JR と荷捌きの運用を含めてよく議論をし、どれを最終的な案にするのか検討してください。地下自転車駐車場の形状については、公共用地と JR 用地活用両方の折衷案のような形状も考えられるので、工事、施工含めて柔軟に考えて頂きたいと思います。

委員)

東口駅前広場で、タクシー待機場とバス乗降場の 1 つを入れ替えれば、横断歩道を圧迫せず、ズレも解消出来るのではないのでしょうか。障害者や高齢者を考えて、駅を降りてすぐの所にタクシー待機場を作る動きもあるので、検討してはどうでしょうか。タクシーが待機出来る台数が少ないため、駅街路 2 号線に待機列が伸びるのではないのでしょうか。入りきらないタクシーについてももう少し検討が必要だと思います。

⇒大田区)

タクシー待機場については、区役所前の自転車駐車場を基地にして、タクシーを出していくショットガン方式について検討しています。タクシー待機場とバス乗降場の位置入れ替えについては、いろいろな配置を考えた中で今の配置になっており、現段階では、この案が良案と考えています。

⇒大田区)

前回の蒲田都市づくり推進会議では、交通島の中央に転回路がある案について提案しましたが、転回路がある案は、バスの配置が 1 台減り、横断歩道や歩道の幅員が全体的に狭まるため、転回路がない案で現在は考えています。ただ、もう少し検討はするべきであると認識しています。

副座長)

地下自転車駐車場の北側の出入口の位置について、歩行者動線や車の動線と自転車利用者が交錯するのではないのでしょうか。自転車の出入の方法等、細かい部分まで考えて設計をしてください。

駅ビル荷捌き動線について、長期的に考えてビルが建て替わるのであれば、将来を考えて、荷捌き場を地下に作れるような工夫も考えておく必要があると思います。荷捌き車両の動線 A 案について、区役所前面道路の車両の進行方向は、検討をした結果なののでしょうか。

⇒大田区)

現状の一方通行の方向に合わせております。

⇒大田区)

地下自転車駐車場の北側の出入口は、出入口方向を東側の駅前広場に向けないで、北側の区道側に向けるとか、歩行者動線や車の動線を避けられる形や位置の検討を行っていく予定です。

委員)

区役所に行く動線と荷捌き車両の動線が重なる問題については、当時、区役所を購入した時からわかっていたので、対策として 2 階から直接駅に繋げる事を検討したと思いますが、それについてはどのように考えていますか。

⇒大田区)

東口の動線は、歩行者と交通機関を分ける必要性からも、ペDESTリアンデッキ等の設置は検討していますが、中長期での対応を考えています。

座長)

新空港線の話はどうなっていますか。

⇒大田区)

新空港線と駅前開発のまちづくりは連動する必要があると考えており、新空港線の出入口の設置場所等含めて検討をしています。

委員)

現在、蒲田駅周辺の駐車場はアロマスクエアの駐車場に空きがあると聞いていますが、商店街の方は、将来的には車で買い物を想定しているのでしょうか。今後、駐車場が不足し、作れと言われても直ぐには作れないので、駐車場を早めに作る、若しくは種地を用意しておき、環境を整えておく考えが必要になってくるのではないのでしょうか。

委員)

基本的には駅近辺に大型の駐車場が出来ると思います。昔は駅前の地下に駐車場を作る案が何回も浮上したが、一回も実現していません。

⇒大田区)

実現しないのは、いろいろな課題があったからだと思いますが、(将来的な需要を改めて見込む必要はありますが、) 現在、新しい駐車場については、検討しておりません。

座長)

車を持つ人が減り、蒲田のような鉄道の便が良い所で本当に駐車場が必要なののでしょうか。附置義務条例でオフィスやマンションに駐車場があるが、空きが目立つところも結構あります。最近では、コインパーキングが有効活用として増えており、そういったものを足し合えば、足りるのではという議論をしている街もあるので、大きな駐車場の必要性については、いろいろな選択肢の中で検討してください。

委員)

利用者の感覚だと駐車場の実態は、足りていないと思います。蒲田駅への車でアクセスは難しく、

動線も整備出来ていません。今の駅前広場の賞味期限は5～10年位だと思うので、新空港線を含めて次を考える事が必要だと思えます。今の状況で取り込むのは難しいと思えますが、問題はたくさんあるので、問題把握はしてください。

委員)

地下自転車駐車を作るのであれば、もう1つ下の層に駐車を考えるのではないのでしょうか。駅ビルの荷捌き車両を地下動線で繋ぐことが出来れば、荷捌き車両が歩行者・自転車動線と錯綜する問題はなくなります。大きい話ではあるが、長期的なスパンの中で検討してください。

座長)

協議会として是非 JR 用地を活用したいと申し入れをしたいので、JR さんとの調整をよろしくお願ひします。

大田区)

蒲田駅周辺再編プロジェクト(案)は、皆様からの了解をいただいたと理解しました。決定後は HP 等の媒体で広く公表し、概要版のパンフレットを作り、PR に努めていきます。パンフレットは、出来れば次回の第8回蒲田都市づくり推進会議でお見せしたいと考えています。

◆その他

- ・今後の日程は下記のとおりとした。

第8回蒲田都市づくり推進会議

H26年2月17日(月) 10:00～12:00 大田区立消費者生活センター2階大集会室

- ・閉会挨拶

以上

平成25年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

◆学識経験者

委員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】

◆地元関係者

委員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子 (欠席)	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 篤榮	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男 (欠席)	飯尾 松男 (代理出席)
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委員

都市・環境委員会 委員長	岡元 由美	
都市・環境委員会 副委員長	深川 幹祐	

◆東京都

委員

担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 (欠席)	大野 誠 (区部街路計画係長)	松岡 秀一 (欠席) (区部街路計画係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	池内 光介 (欠席)	林 清一郎 (交通施設担当係長)	白勢 和道 (欠席) (交通施設担当係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課		安田 剛之 (交通施設担当係長)	

◆大田区

委員

担当

まちづくり推進部長	川野 正博		
まちづくり推進部 再開発担当部長	八嶋 吉人		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	黒澤 明	渡部 正美 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦	西沢 一成 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田再開発担当課長兼務)	齋藤 浩一	大貫 恵二 (地域整備担当係長)	近江 淳一 (地域整備担当係長)
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司	菊地 裕之 (地域整備担当係長)	
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 (防災まちづくり担当係長)	
都市基盤整備部 都市基盤管理課長	畑元 忠	小泉 謙二郎 (欠席) (計画調整担当係長)	岡本 慎一 (欠席) (地域交通対策担当係長)
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟 (欠席) (自転車対策担当係長)	
連続立体事業本部長 (連続立体事業課長事務取扱)	荒井 昭二		
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠	安元 綾子 (連続立体再開発担当係長)	

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課	東 智徳 (企画専門官)		
------------	-----------------	--	--

